

(様式1)

### 令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案

(整理番号) 061	提案機関名 神奈川県内水面漁業協同組合連合会
要望問題名 相模湾産短期アユ種苗の安定生産について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】  厚木市内に内水面漁業の振興を目的としたアユ中間育成施設が整備され、本連合会は相模湾由来の相模湾産稚アユ及び神奈川県が（一財）神奈川県内水面漁業振興会に委託して生産した相模湾産短期継代アユ種苗を用いて、河川放流に適した種苗の育成に努めています。 しかし、相模湾産稚アユ種苗は、海で採捕される天然種苗のため多くの不安定な要素を含んでおりますので、本県のアユ漁業を維持するためにも相模湾産短期継代アユが安定供給されるように同種苗の安定生産をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター    ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。（提案者は、以下記載不要）

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場
対応区分	実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名    (①、②、④の場合) アユ人工種苗研究			
対応の内容等 内水面試験場では、相模湾産短期継代アユ種苗の発眼卵供給のため、平成25年3月に新規親魚候補として相模湾産稚アユを導入し、平成26年にはF2種苗となる発眼卵を事業規模で内水面種苗生産施設に供給しました。併せて、種苗生産を行う（一財）神奈川県内水面漁業振興会に対して技術支援を行いました。その後も、平成28年にF3種苗、平成29年にF2種苗、平成30年にF3種苗というように、F2、F3の発眼卵を交互に供給することができたことから、さらに、親魚養成時の調温による採卵方法などに取組むことにより発眼卵の安定供給を図り、相模湾産短期継代アユの安定生産ができるよう同振興会に対する技術支援に努めてまいります。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			